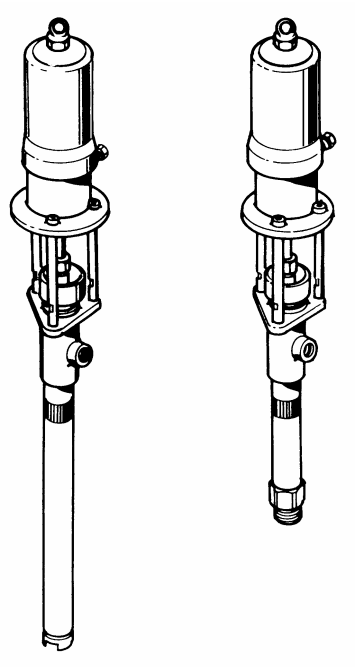
Doc.No.	900085-04

取 扱 説 明 書

110 型(5×1)分割型ポンプ

MODEL No. 851829 PD-110B5
851830 SH-110B5
851831 DR-110B5
851832 SH-110B5SUS
851833 DR-110B5SUS



⚠警　告
安全のため、本製品のご使用の前には必ずこの取扱説明書を良く熟読し、記載されている重要警告事項を良く理解して下さい。また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管して下さい。

YAMADA CORPORATION

はじめに

本書は、お使いになる本製品が故障なく充分に皆様のお役に立ちますことを念願として、正しい使用方法とご使用上の注意について説明したものです。
この説明書を読む前に本製品の操作を行わないでください。
特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。
尚、ご使用中に不明な点、不具合などがありましたら、お買上げの販売店、又は、裏面記載の弊社営業所までご連絡ください。

★　取扱説明書、注意ラベル等を汚損、紛失した場合には、速やかにお買上げの販売会社からご購入いただき保管・貼付してください。

目次

1. 使用目的 …… 1
2. 警告・注意事項 …… 1
3. 使用上の注意事項 …… 1
4. 各部の名称 …… 3
5. 作動原理 …… 3
6. 設置
6-1. ドラムポンプの据付 …… 4
6-2. サイホンポンプの据付 …… 4
6-3. 汲替用材料ホースの取付 …… 4
6-4. 圧送用材料ホースの取付 …… 4
6-5. エアの接続 …… 4
7. 使用方法 …… 5
8. 保守・点検
8-1. 故障の点検とその対策 …… 6
8-2. 保守・点検 …… 6
8-3. 消耗部品 …… 6
8-4. 分解・組立 …… 6
8-5. 部品分解図・パーツリスト …… 9
9. スペック
9-1. 仕様諸元 …… 12
9-2. パフォーマンスカーブ …… 12
製品保証登録 FAX シート …… 13
10. 保証規定 …… 裏表紙

1. 使用目的

110 型(5×1)分割型ポンプは、エアモーターと下ポンプが分割されていますので、ペイント・接着剤などの材料の圧送・供給に最適なポンプです。
特に、ステンレス(SUS)仕様のポンプは、接液部にステンレススチール・フッ素樹脂パッキンを使用しておりますので、薬品・食品などの圧送・供給にも適しています。

2. 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。
本書では、警告および注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただくようによくお読みください。

⚠ **警告：** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠ **注意：** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることを表しています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。

この表示は、必ずしたがっていただく内容であることを表しています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

NOTE： 作業の効率化および機器の保全がはかれる場合に記載しております。

3. 使用上の注意事項

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

［使用環境・条件について］

⚠ 注意
・ **よく読んでからご使用ください。** 本機を安全に正しくお使いいただくために、注意事項を理解してから使用してください。
・ **取扱制限** 本機の操作者・管理者は、本機の内容を理解していない者に操作させないでください。
・ 本取扱説明書を紛失・損傷等した場合は、当社または代理店に発注してください。

[据付および配管について]

⚠ 注意

- **作業を中断してください。**

  作業中、危険を感じたり、異常に気がついたときは作業を中断し、原因を取り除いてからやり直してください。

- **エアを切ってください。**

  作業をするときは、必ず供給エアを切ってから行ってください。

- **正しく設置してください。**

  配管材、サイズなど注意事項に沿って適切な設置を行い、漏れや破損が無いよう十分注意してください。

[使用方法について]

⚠ 警告

- **理解してから作業してください。**

  作業者、保守要員の方は、本機およびこれに関連するポンプの操作、又は保守を行う前に取扱説明書をよく読んで、完全に理解できるまでは作業を行わないでください。

- **適用外使用禁止**

  本機の仕様、規定された用途以外に使用すると、人身事故や物損事故の原因となります。
  製品仕様書に基づいて使用してください。

[分解および保守・点検について]

⚠ 警告

- **エアを切ってください。**

  エアを入れたまま作業を行うと、材料が吐出するなどの恐れがあります。

  作業をするときは、必ずエアを切り装置を停止させてください。

- **改造禁止**

  本機を改造すると、人身事故や故障を生じる恐れがあります。危険ですので、絶対に改造しないでください。

- 本機から排出される材料によっては、有害物となる物もあります。

  必ず容器に排出してください。地面等に直接排出しないでください。

- **消耗部品の消耗時間について**

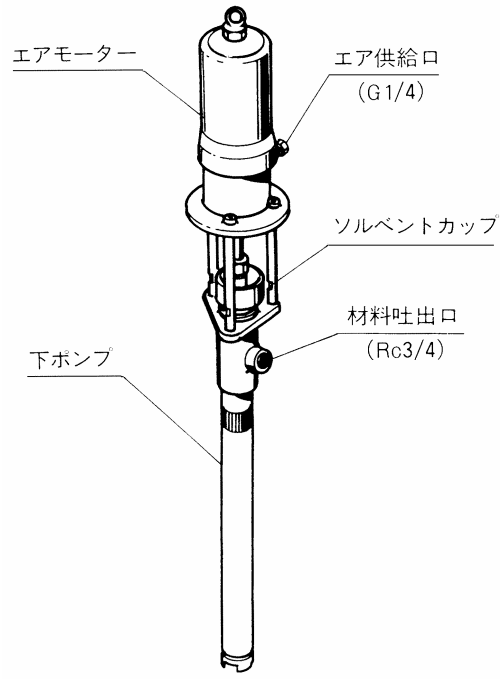
  取扱材料や運転条件により寿命に大きな違いがあります。本機の性能が著しく低下しているようであれば、部品を新品と交換してください。

[運転休止および保管について]

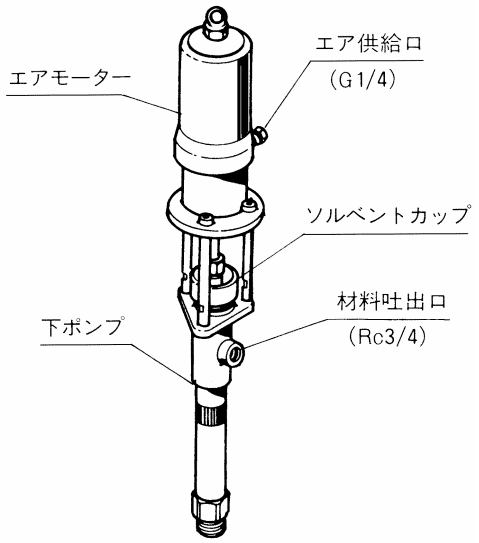
⚠ 注意
・ **長時間使用しない場合、または停止する場合** 作業終了後および夜間・休日は必ず本機への供給エアを切って、ガンを開放の状態にして配管、ホース内の内圧を抜いてください。供給エアを入れっぱなしで、パッキン、ホース類の損耗によりポンプが作動し、施設をオイルによって汚染させるなどの恐れがあります。 二次災害については使用者側の責任になります。

4. 各部の名称

DR110B5（ドラムタイプ）
PD110B5（ペールタイプ）

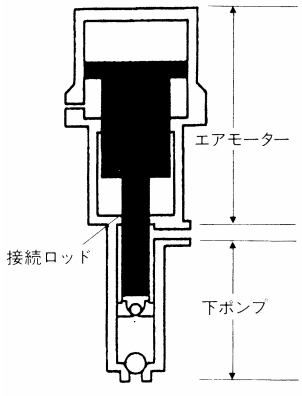


SH110B5（サイホンタイプ）



5. 作動原理

ヤマダエアパワードポンプは、圧縮エアによって駆動されるレシプロケート（往復運動）型のポンプです。
右図の通りポンプを駆動するエアモーター部と材料を汲み上げる下ポンプによって構成されています。
エアモーターにコンプレサーからの圧縮エアを送りこみますと、エアピストンがその中に組み込まれたエア切替機構の働きによって、上下の往復運動を開始します。
この働きは、エアモーターのエアピストンと下ポンプのピストンを結ぶ接続ロッドによって、下ポンプのピストンに伝えられ、これに上下の往復運動を与えます。
下ポンプのピストンの上下の往復運動により材料は、下ポンプ内に汲み込まれ、吐出口から圧送されます。

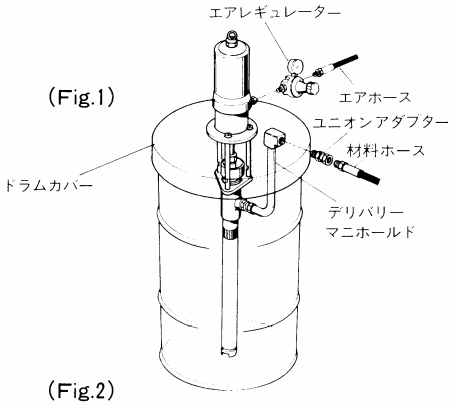


6. 設置

6-1. ドラムポンプの据付

1) ドラムカバー (別売) にポンプを固定し、オープンタイプのドラム缶に取付けてください。(Fig. 1)

(Fig.1)

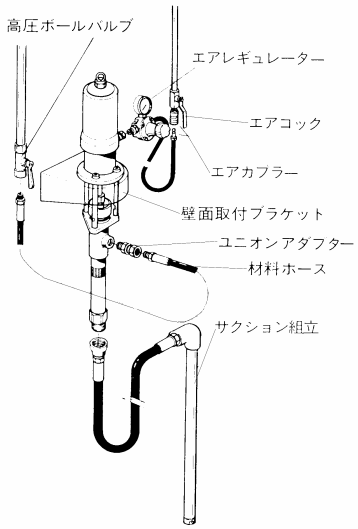


6-2. サイホンポンプの据付

1) 壁面取付ブラケット(別売)、パネルユニット(別売)などにポンプを取り付け壁に固定してください。
または、架台(別途製作)にポンプを固定してください。

2) ポンプとサクションホース組立 (別売) を接続してください。(Fig. 2)

(Fig.2)



NOTE
- ステンレス仕様のポンプには、サクションホース組立もステンレス仕様のものをご使用ください。
- 壁面取付けブラケット、パネルユニットを壁面に取り付ける際は、確実に固定できる場所であり、かつ振動に耐えられる場所を選定してください。(Fig. 2)

6-3. 汲替用材料ホースの取付

1) ポンプの材料吐出口(Rc3/4)に材料ホース(別売)を組付けてください。材料ホースがゆるまないようスパナで締めこんでください。この際、ホースのオスネジに市販のシールテープを巻いてねじ込んでください。

2) ホースの先端に、用途に合わせたガンを組付けてください。

6-4. 圧送用材料ホースの取付

配管にて遠距離にオイルを圧送する場合は、以下の手順で行ってください。

⚠ 注意

⃠ ポンプと配管とをダイレクトに、接続することはしないでください。ポンプの作動時配管を傷つけたり、騒音が激しく、ドラム缶が交換できなくなり、ポンプのメンテナンスが不可能になります。必ず、ポンプと配管の間はフレキシブルなホースで接続してください。

1) ポンプの材料吐出口(Rc3/4)に、ホースユニオンと材料ホース(別売)を組付けてください材料ホースがゆるまないようスパナで締めこんでください。この際ホースのオスネジにシールテープを巻いてねじ込んで下さい。

2) ホースの先端と配管の間にバルブを取付けてください。(Fig. 3)

3) リリーフ弁を、必ず取付けてください。

6-5. エアの接続

1) ポンプのエア供給口(Rc3/4)にエアレギュレーター(別売)を取付てください。
標準品として専用のエアレギュレーターを用意しておりますので、ご利用ください。

2) コンプレッサーからのエアホースをエアレギュレーターの IN 側に接続してください。

⚠ 注意

❗ ポンプを安全に使用していただくため、エア供給口には必ずエアレギュレーターを取付けてください。
(エアレギュレーターは、減圧弁と圧力計とによって構成されています。)

NOTE
- エアホースにエアが供給されていますと、ポンプが作動してしまいます。
エアホースを接続する前に、必ずエアレギュレーターのツマミを左 (反時計方向) に廻し、圧力計の指針を "0" に戻しておいてください。
- エアレギュレーターの使用は、ポンプへの供給エア圧力を調整でき、ポンプの無駄な動きを少なくすることにより作業性がよく、ポンプの寿命が長くなります。エアレギュレーターでのエア圧力調整方法は、ツマミを右に回すと加圧 (圧力系の指針が "0"から徐々に数値が上がる) され、左に回すと減圧 (圧力計の指針が逆に" 0"に戻る) されます。通常の使用状態では圧力計の指針が 0.3～0.5MPa の位置が適当です。

7. 使用方法

本機には、プランジャーロッド、パッキンの固着を防止するため、ソルベントカップが組込まれています。使用する材料に適した溶剤、又は潤滑油をカップの 2/3 程度入れ使用中不足したら補充してください。

⚠ 注意

- ・ポンプへの供給エア圧力は、0.7MPa 以下で使用し、絶対に 0.7MPa 以上では使用しないでください。
- ・作動しているポンプの排気口には、絶対に顔を近付けないでください。
  高圧で排気しますので水分が氷結する場合があり、氷によりケガをすることがあります。
- ・作業終了後、又は夜間においてポンプに供給しているエアを遮断しないために、ホースの破損、バルブ又はガンのリークによって施設などを汚染させる等、二次災害に関しては使用者側の責任となります。
- ・エアモーターと下ポンプを接続する 3 本のスタットの中に手を入れないでください。
  往復運動するプランジャーによって挟まれ、ケガをする事があります。
- ・ポンプが作動不良、または作動停止等の状態になった場合、ポンプを不用意に分解せず 6 ページの＜故障の点検とその対策＞の項を参照し、その状況をよく判断して必要以外の箇所は分解しないでください。

NOTE

- ・作業終了後、又は長時間使用しない場合は、エアを遮断しポンプへの供給エアを止め、吐出口バルブを開いてポンプ・ホース内の圧力を抜いておいてください。
- ・ドラム缶内のオイルが無くなりますと、ポンプは空打ちし作動が速くなり、ポンプの寿命に悪影響を与えます。直ちにポンプを止め新しいドラム缶と交換してください。
- ・圧送できる距離は、オイルの粘度・温度・必要流量等によって異なりますので、詳細は弊社営業所までお問い合わせください。

1)エアレギュレーターのツマミを徐々に右(時計方向)に回し、ポンプ内にエアを供給します。供給エア圧が 0.15～0.20Mpa にてポンプは作動します。
供給エア圧力は、圧力計の指針の動きにより表示されます。

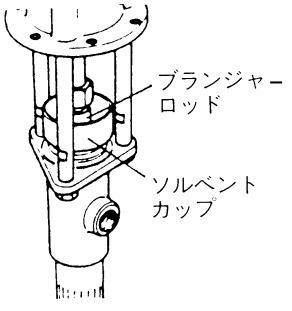
2)エアを供給するとポンプはしばらく作動し、ホース・配管・ガン内にオイルを満たして自動的に停止します。ポンプが作動しっぱなしの場合は、ホース・配管・ガン及び各接続部よりの漏れが考えられます。
エアの供給を止め点検してください。

3)オイルの吐出は、材料ホース先端のガンレバーの操作にて行います。
レバーを引くとバルブが開き、ポンプが自動的に作動しオイルを吐出します。
レバーを戻すとバルブが閉じ、オイルが停止されポンプも止まります。

4)使用用途に合わせ供給エア圧力を調整してください。
通常は、0.3～0.5MPa の圧力でご使用ください。特に、オイル圧送用として使用される場合は、配管距離・オイル粘度等によって吐出量が異なります。
ご希望の吐出量に合わせ、供給エア圧の調整を行ってください。

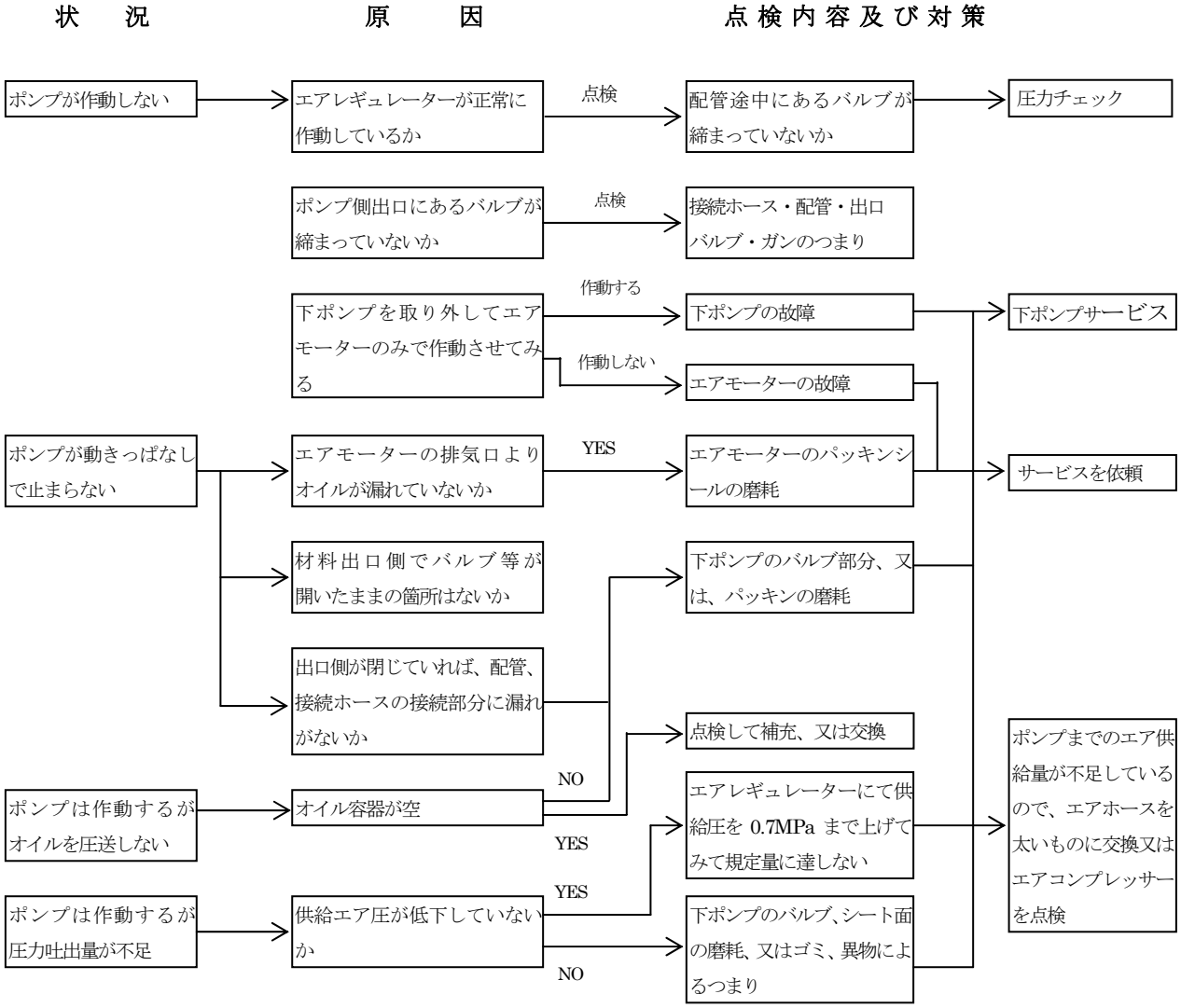
5)作業終了・休日等でポンプを作動させない場合、プランジャーロッドを下降時の状態にし、ソルベントカップ内の溶剤に浸しておいてください。(Fig.3)
（エアレギュレーターのツマミで調整しポンプを下降状態で停止させる。）
材料によっては、プランジャーロッドに付着した材料が乾燥・固着し、パッキン類をキズつけるからです。

(Fig.3)

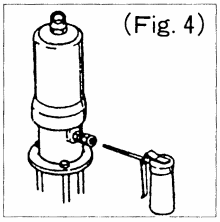


8. 保守・点検

8-1. 故障の点検とその対策



8-2. 保守・点検



・ポンプのルブリケーションのため、10 日に一回程度潤滑油の注入を行ってください。
　潤滑油の注入は以下のように行います。
　1. エアレギュレーターを取り外します。
　2. エア供給口に、右の図のように潤滑油を数滴(約 0.5m l)注入します。
　　潤滑油は、タービン油 1 種 ISO(VG-32)又は相当をご使用ください。
・ソルベントカップ内に、材料が多く上がってくるような場合は、パッキンのシールの状態が悪くなっていますので、フックレンチなどでソルベントカップを少し締めこんでください。

8-3. 消耗部品

ホースは消耗品です。定期的に点検し、キズ・漏れなどがある場合は早めに交換してください。ポンプのパッキン類及び摺動部分の部品は磨耗します。年に 1 回点検・交換が必要です

8-4. 分解・組立

ポンプの作動が不良・停止の状態になった場合は、不用意にポンプを分解せずに 6 ページの＜故障の点検とその対策＞の項を参照して、その状況をよく判断し必要以外の箇所まで分解しないでください。エアモーターは、直接材料に触れることが無く故障は極めて少なく、分解の必要はありません。万一、分解の必要が生じた場合は、弊社サービス店にご依頼ください。

⚠ 注意
・ガソリンは高揮発性の燃料です。ポンプの洗浄などには絶対に使用しないでください。引火・爆発のおそれがあります。
・本機の分解・点検は、必ず供給のエアを止めて出口バルブを開き、本機内の圧力を開放値にしてからおこなってください。

エアモーターと下ポンプの分解

1)ポンプに供給しているエアを切り、ポンプ内の圧力を抜いてください。

2)ポンプよりエア接続ホース、材料ホースなどを取り外してください。

3)装置からポンプを取り外し、サクションチューブ内に残っている材料を抜き取ってください。材料は、フートバルブ内のボールを手で押し上げることにより抜くことができます。

4)ポンプのエアモーターボディ部をバイスに固定してください。

NOTE: エアシリンダーは傷がつきやすいので絶対にバイスに固定しないでください。

5)３本の接続ロッドのナットをねじ戻し外してください。

6)エアモーターのピストンロッドと下ポンプのプランジャーロッドの接続部の袋ナットをねじ戻しゆるめますと、下ポンプが分解できます。(Fig.5)

下ポンプの分解

＜フートバルブの分解＞

7)サクションチューブのローレット部をバイスに固定し、フートバルブにスパナをかけ、ねじ戻し外してください。(Fig.6)

8)フートバルブのストッパーピンを外し、ボールを取り出してボール及びシート面を洗浄・点検し、キズ、磨耗等があれば新品と交換してください。(Fig.7)

<インテークバルブ組立の分解>

9)下ポンプのボディ部をバイスに固定し、サクションチューブのローレット部にパイプレンチをかけ、サクションチューブをねじ戻し外してください。

10)プランジャーロッドとコンロッドを接続しているスプリングピンを抜き、コンロッドをねじ戻し外してください。この時、工具をプランジャーロッド端部の切り欠きにかけてください。プランジャーロッドの摺動部に工具をかけますと、キズを付け故障の原因となります。

11)インテーク組立のハウジングをバイスに固定し、バルブシートにスパナをかけねじ戻し外しますと、ボール・ワン型パッキンなどが分解できます。（この時、廻り止めに注意してください。）分解した各部品を洗浄・点検し、キズ、磨耗等があれば新品と交換してください。

12)ハウジングとロッドは、なるべく分解しないでください。もし分解した場合は、コネクティングロッド先端とボールとの隙間が 4～5mm になるように組み、ナットでゆるまないようロックしてください。

＜V型パッキンの分解＞

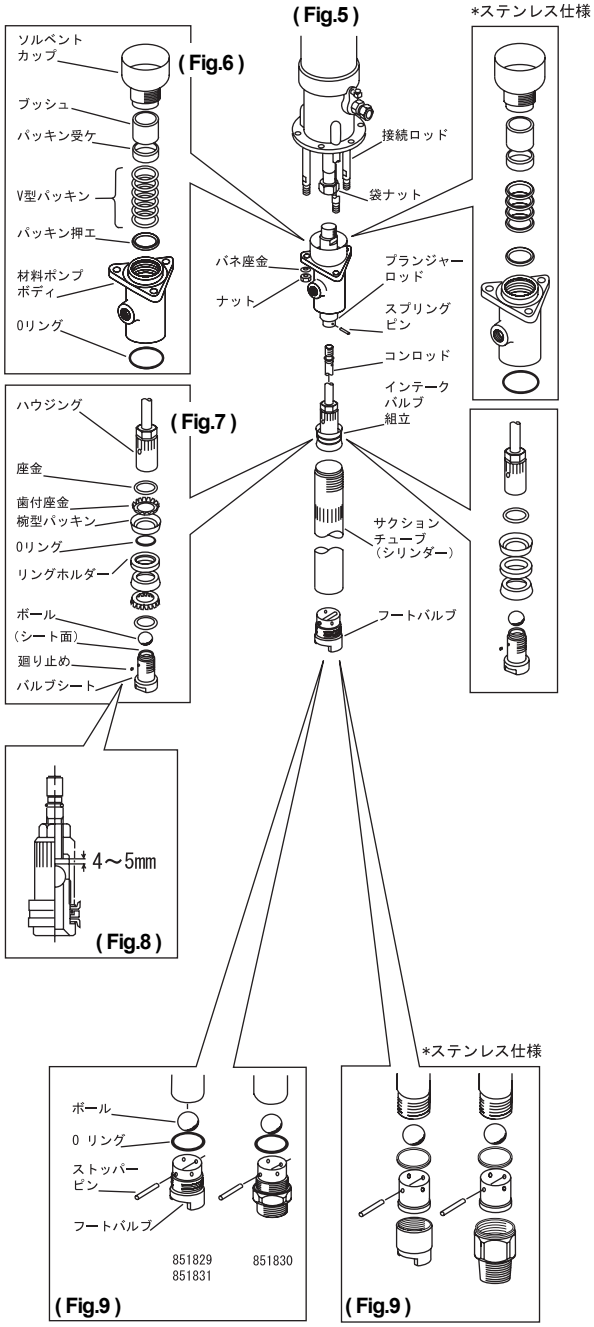
13)前項<インテークバルブ組立>の 10 項の方法でプランジャーロッドとコンロッドを分離してください。

14)下ポンプボディ部をバイスに固定し、ソルベントカップをフックレンチなどでねじ戻しゆるめてから、プランジャーロッドを抜き取ってください。

15)ソルベントカップを取り外しますと、ブッシュ、パッキン押エ、V型パッキン(ステンレス仕様では、フッソ樹脂V型パッキン)などが分解できます。

16)各部品を洗浄・点検し、キズ、磨耗等があれば新品と交換してください。V型パッキン（ステンレス仕様では、フッソ樹脂V型パキン）は、交換してください。

17)部品点検後の再組立は、分解時の逆の手順で行ってください。V型パッキンのシール具合は、ソルベントカップの締め方で調整してください。



マフラ組立の分解

排気口のマフラ組立は、長時間使用しますと目詰まり等により、消音効果が半減します。

定期的に分解・点検を行ってください。

1) マフラ組立のハウジングにパイプレンチをかけ、ねじ戻し外してください。

2) ストップリングプライヤでストップリングを外しますと O リング・プレートが取り外せます。

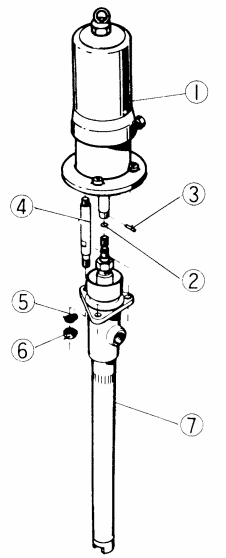
3) 各部品（特にプレートの目詰まり）を洗浄・点検し、磨耗などがあれば交換してください。

［エアモーターの分解］

エアモーター部は、組立の際の調整が難しいため 6 ページの＜保守・点検＞の項でエアモーター故障と判断した場合は、お買い上げの販売店、又は営業所に修理を依頼してください。

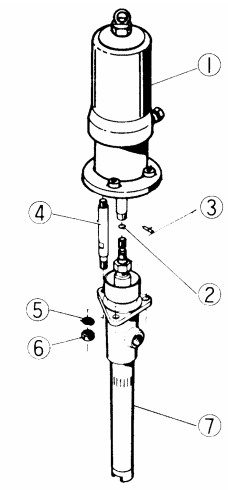
8-5. 部品分解図・パーツリスト

部品構成図　110 型分割 5:1 ポンプシリーズ



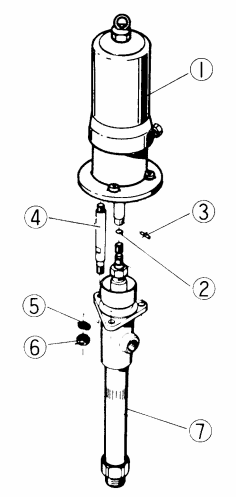
851831 DR110B5

No	部品番号	部品名称	員数
1	802571	エアモーター	1
2	640006	0 リング	1
3	632774	スプリングピン	1
4	701565	接続ロッド	3
5	631422	バネ座金	3
6	627045	ナット	3
7	802577	下ポンプ	1



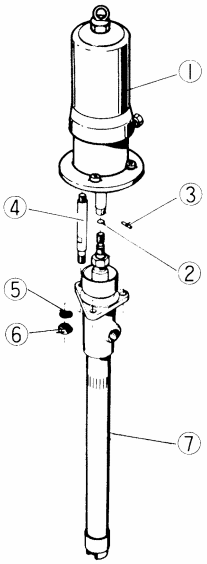
851829 PD110B5

No	部品番号	部品名称	員数
1	802571	エアモーター	1
2	640006	0 リング	1
3	632774	スプリングピン	1
4	701565	接続ロッド	3
5	631422	バネ座金	3
6	627045	ナット	3
7	802575	下ポンプ	1



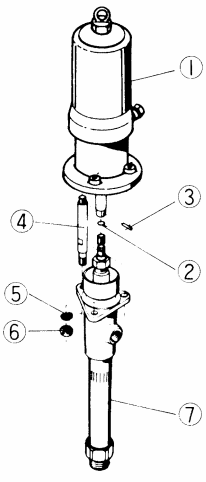
851830 SH110B5

No	部品番号	部品名称	員数
1	802571	エアモーター	1
2	640006	0 リング	1
3	632774	スプリングピン	1
4	701565	接続ロッド	3
5	631422	バネ座金	3
6	627045	ナット	3
7	802576	下ポンプ	1



851833 DR110B5・SUS

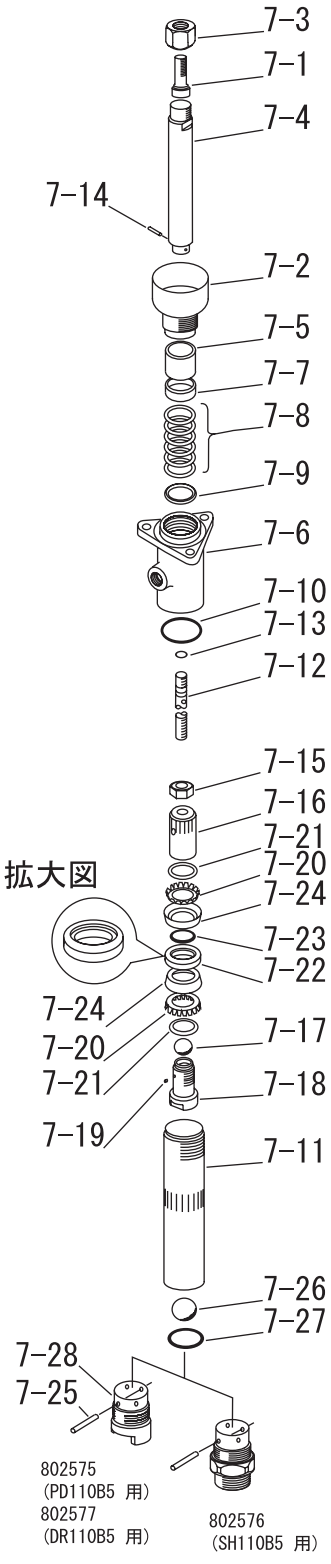
No	部品番号	部品名称	員数
1	802571	エアモーター	1
2	640006	0 リング	1
3	632774	スプリングピン	1
4	701565	接続ロッド	3
5	631422	バネ座金	3
6	627045	ナット	3
7	802579	下ポンプ	1



851832 SH110B5・SUS

No	部品番号	部品名称	員数
1	802571	エアモーター	1
2	640006	0 リング	1
3	632774	スプリングピン	1
4	701565	接続ロッド	3
5	631422	バネ座金	3
6	627045	ナット	3
7	802578	下ポンプ	1

下ポンプ組立
部品分解図

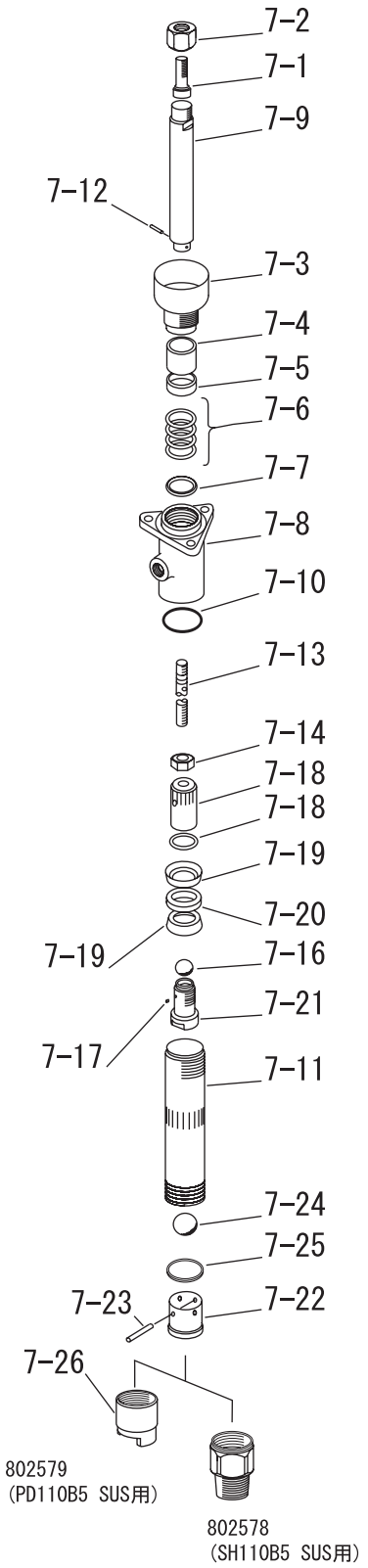


■パーツリスト

No.	部品番号			部品名称	員数
	802575	802576	802577		
7-1	710794	←	←	コンロッド	1
7-2	830083	←	←	カップ組立	1
7-3	700350	←	←	袋ナット	1
7-4	701537	←	←	プランジャー	1
7-5	701529	←	←	ブッシュ	1
7-6	830082	←	←	ボディ組立	1
7-7	701530	←	←	パッキン受	1
7-8	770150	←	←	V型パッキン	1
7-9	701531	←	←	パッキン押エ	6
7-10	610135	←	←	Oリング	1
7-11	704583	←	704584	サクションチューブ	1
7-12	701552	←	704155	コンロッド	1
7-13	640012	←	←	Oリング	1
7-14	632774	←	←	スプリングピン	1
7-15	627016	←	←	ナット	1
7-16	701554	←	←	ハウジング	1
7-17	630334	←	←	ボール	1
7-18	701553	←	←	バルブシート	1
7-19	770233	←	←	廻リ止メ	1
7-20	701533	←	←	歯付き座金	2
7-21	701534	←	←	座金	2
7-22	701532	←	←	リングホルダー	1
7-23	640131	←	←	Oリング	1
7-24	770151	←	←	椀型パッキン	2
7-25	701556	←	←	ピン	1
7-26	630341	←	←	ボール	1
7-27	640134	←	←	Oリング	1
7-28	704587	704586	704587	フートバルブ	1

下ポンプ組立（ステンススチール）

部品分解図



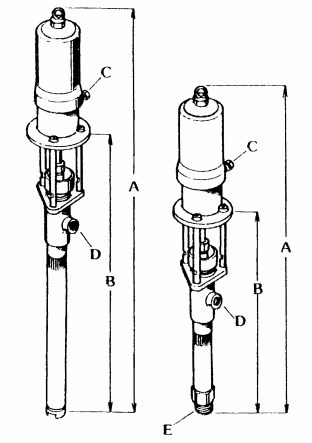
■パーツリスト

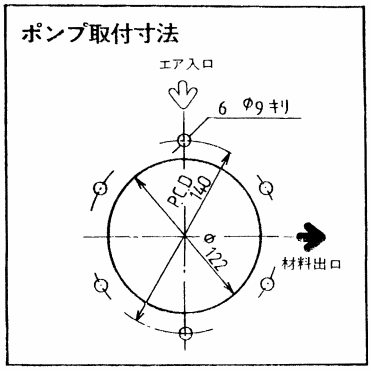
No.	部品番号		部品名称	員数
	802578	802579		
7-1	710803	←	コンロッド	1
7-2	702283	←	袋ナット	1
7-3	830200	←	カップ組立	1
7-4	770234	←	スリーブ	1
7-5	702278	←	パッキン押エ	1
7-6	770231	←	Uリング	4
7-7	702279	←	パッキン受	1
7-8	709290	←	サクションボディ	1
7-9	702285	←	プランジャー	1
7-10	770235	←	パッキン	1
7-11	705288	←	サクションチューブ	1
7-12	680177	←	スプリングピン	1
7-13	702290	←	コンロッド	1
7-14	628016	705287	ナット	1
7-15	702286	←	ハウジング	1
7-16	630434	703815	ボール	1
7-17	770233	←	廻リ止メ	1
7-18	702280	←	パッキン押エ	1
7-19	770501	←	椀型パッキン	2
7-20	770236	←	バックアップリング	1
7-21	702287	←	ピストンボディ	1
7-22	702288	←	フートバルブ	1
7-23	702281	←	ピン	1
7-24	630442	←	ボール	1
7-25	770237	←	パッキン	1
7-26	702289	←	フートバルブ	1

9. スペック

9-1. 仕様諸元

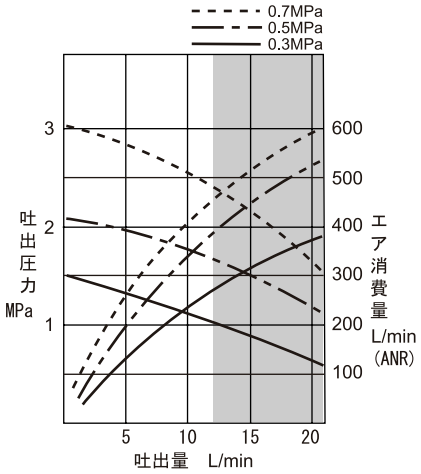
形式番号	ポンプレシオ	エアモーター		ディスプレースメント			サイクル数／L	全長 (A) mm	首下 (B) mm	接続			質量 Kg
		有効径 mm	有効断面 cm^2	ストローク mm	エアモーター ml	下ポンプ ml				エア入口 (C)	材料出口 (D)	材料入口 (E)	
851831 DR110B5	5×1	77.8	47.52	60	570	109	9.2	1180	860	G 1/4	Rc 3/4		17
851829 PD110B5								843	523				12
851830 SH110B5								861	541			R $1^1/_2$	14.1
851833 DR110B5・SUS								1229	909				16
851832 DR110B5・SUS								858	538			R $1^1/_2$	15



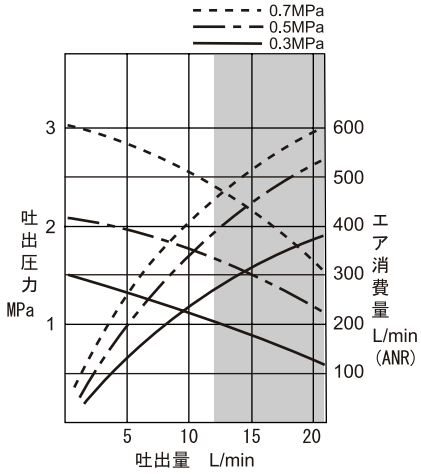


9-2. パフォーマンスカーブ

PD-110B5	SH-110B5	DR-110B5
851829	851830	851831



PD-110B5SUS	SH-110B5SUS
851832	851833



製品保証登録ＦＡＸシート

・お手数ですが、下記のＦＡＸシートをコピーして必要事項をご記入の上、弊社宛てにご送信ください。
（フリガナ指定の箇所は、必ずご記入下さい。）

製品保証登録ＦＡＸシート

フリガナ

貴社名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

フリガナ

ご担当者名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

フリガナ

ご住所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ご所属 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ご連絡先

Ｔｅｌ．（　　）＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿

Ｆａｘ．（　　）＿＿＿＿－＿＿＿＿＿＿

■貴社の業種を下記より選んで〇で囲んで下さい。

1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造
4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業
7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業
10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業
13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業
16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業
19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造
22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. バルブ

25. その他（詳しくご記入下さい。＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

■本機をお知りになったきっかけを〇で囲んで下さい。

新聞	1. 日刊工業新聞	2. 日本工業新聞		3. 日経産業新聞
	4. 日刊自動車新聞	5. 燃料油脂新聞		6. その他の新聞
雑誌	7. IEN	8. 化学装置	9. IPG	10. その他の雑誌
	11. 販売員に薦められて	12. 展示会		13. カタログで

ご購入年月日	＿＿＿＿ 年 ＿＿＿ 月 ＿＿＿ 日	ご購入目的 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
ご購入販売店		ご使用条件 1. 取扱材料（液剤） ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 2. 流量（吐出量） ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
製品名（型式）		
製品番号		
SERIAL.No.		3. 吐出圧力 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
LOT.No.		

宛先
株式会社 ヤマダコーポレーション
営業部　製品保証登録係
TEL.０３－３７７７－４１０１
FAX.０３－３７７７－３３２８

お 願 い

この度は、弊社製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
弊社では、お納めした製品のアフターサービス徹底のため「ご愛用者登録」による保証制度を採用しております。お手数をおかけいたしますが、添付の「製品保証登録 FAX シート」に必要事項をご記入の上、弊社宛にご送信ください。弊社にて受信後、下記記載の保証を履行させていただきます。
尚、ご送信がない場合には、保証期間中でも保証の対象となりませんので必ずご送信ください。
又、本制度は日本国内においてのみ有効です。

10.保証規定

1. 保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して 12 ヶ月間といたします。
2. 保証内容：保証期間中に、本機を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。
3. 適用除外：保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。
   (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
   (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不充分が原因による故障。
   (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解する様な液剤を使用されて生じた故障。
   (4) 弊社、又は弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
   (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
   (6) パッキン、O-リング、ボール、バルブシートなどの消耗品の磨耗。
   (7) お買上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
   (8) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
   (9) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用した場合に発生した故障。
   (10) 定格値を超える電源にて使用された事により発生した故障及び損傷。
   (11) 過度に磨耗性を有する材料や、本機に不適当な油脂を使用された場合の故障。
   (12) 日本国外においてご使用の場合。
   尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記商品については、保証の適用から除外させていただきます。
   ・ホース類　・各種パッキン類　・コード類
4. 補修用部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 5 年とさせていただきます。
   製造打ち切り後 5 年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

型　　式	
製 造 番 号	

ご購入年月日	
ご購入の販売店	

⚠ **安全に関するご注意** ／ ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、性能・寸法など改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
製品に対するお問い合わせは、下記営業所にお願い致します。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業部　〒143-8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号　TEL(03)3777-4101(代)　FAX(03)3777-3328
札幌営業所　〒062-0002 札幌市豊平区美園二条 6 丁目 3 番 16 号　TEL(011)821-0630(代)　FAX(011)821-0949
仙台営業所　〒983-0034 仙台市宮城野区扇町 2 丁目 2 番 44 号　TEL(022)232-4743(代)　FAX(022)232-4756
東京営業所　〒143-0025 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号　TEL(03)3777-3171(代)　FAX(03)3777-6770
名古屋営業所　〒463-0052 名古屋市守山区小幡宮ノ腰 7 番 38 号　TEL(052)795-0222(代)　FAX(052)795-0444
大阪営業所　〒537-0025 大阪市東成区中道 3 丁目 15 番 2 号　TEL(06)6971-5301(代)　FAX(06)6974-0497
広島営業所　〒733-0833 広島市西区商工センター5 丁目 3 番 5 号　TEL(082)278-5341(代)　FAX(082)278-5310
福岡営業所　〒816-0088 福岡市博多区板付 5 丁目 18 番 14 号　TEL(092)581-5477(代)　FAX(092)581-6524
相模原工場　〒229-1112 神奈川県相模原市宮下 1 丁目 2 番 38 号

YAMADA AMERICA Inc.　955 E.ALGONQUIN RD.ARLINGTON HIGHTS, IL 6005, U.S.A.　TEL 1-847-631-9200
YAMADA EUROPE B.V　Aquamarijnstraat 50-7554 NS Hengelo(O), The Netherlands　TEL 31-0-74-242-2032

200904 900085

☆本製品の仕様は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。